

部初幸君。

○議員（19番 大部 初幸君） 今議会のトップバッターの一般質問ですので、小学校、中学校の教訓で習った「清く・正しく・美しく」をモットーに頑張らせていただきますので、よろしくをお願いします。

今回の一般質問は三つなんですけど、再質問です。

まず、豊玉中学校、豊玉小学校と公園のトイレの改善について、これは20年の第4回の際の定例議会の質問です。今現在でも、豊玉中学校の運動場横のトイレ、豊玉小学校の運動場横のトイレ、また公園のトイレが昔のままのトイレのところがあります。大きく言えば、これからの日本を背負っていく大事な宝の小学生、中学生です。教育上からも衛生面からも非常に悪いし、これから夏に向かって暑くなれば、悪臭とアンモニアのにおいで目があけられないし、時にはウジ虫などがはっているトイレもあります。学校の運動場はいろんなイベントがとり行われ、当然、それなりに人も集まり、生徒も父兄も集まります。

つい先月の5月14日は豊玉中はバレーの大会が、5月13日は豊玉小は消防の操法大会がありました。みんなが「汚いね。」「臭いね。」と言いつつ、仕方がないから使用をしていましたが、あまりにも不衛生です。簡易水洗か、できるならば水洗トイレに改善できないかをお尋ねします。

二つ目、美津島町西海漁協組合前の護岸整備と浮き棧橋の大型新設について、これも再質問です。

水産業界も水揚げの減少、魚価安、燃油高騰の厳しい時代にマグロ養殖が一番経営が安定している事業だと思われまます。美津島町の西海漁協組合は浅茅湾という本当に自然体に囲まれ、東西に潮が流れ、潮通しのよい漁場をうまく活用し、魚類養殖の経営体数と水揚げ高は、対馬島内では昔から1番の漁協組合です。近年はハマチ、タイ、ヒラマサ等の養殖から、マグロ養殖を中心に朝早くからマグロのえさ出しに、またマグロの出荷に、生産者も職員も毎日大忙しのようです。聞くところによりますと、マグロの養殖尾数もかなり増え、2倍、3倍に増やして頑張っているそうです。

そのような中、組合の前の護岸も整備されず、また組合員に現在の浮き棧橋は小さ過ぎて、両側に1隻ずつしか作業船は係留できず、次の船はえさが積み終わるまで沖合で待機をしております。組合の冷蔵庫からフォークリフトで浮き棧橋まで、えさを1回に500箱ぐらいを行ったり来たりして作業をされております。1日のマグロにやるえさの箱数は3,000箱近く、これから水温が上がる夏から秋にかけては魚が一番成長する時期、それに伴いえさの量も4,000箱を超えるそうです。えさの量が増えるわけですから、1隻の船が積み込みに時間がかかり、最後の作業船が積み込みが終わるときは昼近くになるときもあるそうです。えさを積んだトラックごと

浮き栈橋に行ける大型の浮き栈橋の新設をすることができないか、市長のお考えをお尋ねします。

三つ目、美津島町平瀬原地区の集会施設の建設について、この質問は21年9月の定例議会、そして昨年23年6月の定例会において一般質問をさせていただいております。今度で3回目の一般質問となります。

この平瀬原地区は、大船越と久須保に境界がまたがり、土地区画はまだまだ膨大にあり、毎年、新しく住宅がふえており、この5月で49世帯、155名程度の住民が暮らしております。すぐ近くには大船越小学校、大船越中学校もあり、また景観のよい地区で、これから先も住宅がふえていくのは必然だと思われれます。

しかし、何回も申し上げているように、この地区は集会施設がなく、区の総会やいろんな集会、またイベントのときは大船越地区の公民館等を借りて行事をとり行われております。

このように不便を講じているこの平瀬原住民が、長きにして待ち望んでいる集会施設を新設していただけないでしょうか。この平瀬原の集会施設の新設につきましては、昨年の6月の私の一般質問に対し、市長は引き続き市長の職にいたるときは新しく新設するとのお言葉をもらっているので、私も当然、平瀬原の住民も大きく期待をしております。市長のお考えをお尋ねいたします。

○議長（作元 義文君） 教育長、梅野正博君。

○教育長（梅野 正博君） おはようございます。大部議員の御質問のまず最初の学校トイレ、それから運動公園のトイレについてお答えをいたします。

学校の屋外便所の中には、直下式のくみ取り式便所がございます。使用状況は児童・生徒の屋外での活用時の使用に加え、消防団の訓練、地域住民のグランドゴルフ等、広く使用をされている状況であります。

御指摘の豊玉小学校と豊玉中学校の屋外便所を現地確認をいたしましたところ、議員御指摘のとおりでございます。直下式のくみ取り便所で、状況も先ほど御質問の中にもありましたとおりでございます。両校にありましては、統合推進計画でも今後も存続する学校であり、また学校開放施設として広く地域の方から利用されていることから、早急な改善を図りたいと思っております。

運動公園のトイレの状況でございますが、生涯学習課の所管する該当施設の整備状況につきましては、水洗が5カ所、簡易水洗が10カ所、直下式が9カ所でございますが、各地区とも個人及び公社委託で清掃管理を行って、きれいに清掃を心がけております。昨年度2回ほど、生涯学習課も全部のトイレを見回しまして状況を確認をいたしましたところ、おおむね良好でございました。指導といたしますか、やや状況が悪いところにつきましては、その旨を伝えて改善をするようにいたしまして、また2回目のときに確認をしております。

以上でございます。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） おはようございます。大部議員のまず、公園のトイレの件についてお答えさせていただきます。

もう既に御存じのように、公園が位置するところというのが、どうしても対馬の場合、水道がない場所とか、風光明媚なところを紹介するための景勝地の場合、簡易水洗とか水洗とかいうのに不可能な場所もあります。全体で公園におけるトイレの箇所数は109カ所あります。そのうちの81%が水洗の対応をしております。残り約20%近くが旧来のスタイルであると。

ところが、問題は私は管理にあると思っております。今、担当課のほうにも指示を出しておることが1点ありまして、管理のあり方をきちんと自分らも使う人も感じていくために、清掃を行った日にちとか時間とか、誰がしたかということを書き込んでいく、残していく、それをそのトイレにきちんと明示できるようなやり方で管理を変えていかないといけないんじゃないかと。そのことによって、使う人たちもやはり、いついつ掃除されてる、だからこんなに汚れてるというケースもあるでしょう。管理の回数を増やすことも、そのときは検討しないといけないし、頻繁に掃除は清掃はしてるけれども、しかし汚れるということになると、今度は使用者の問題だとそれは思います。そのようなモラルの問題とか、どちらがどうなんだということを明確にしておくためにも、その管理のあり方をちょっと考え直していきましょうというふうなことで、今指示を出しておりますので、そういう中でどうしても冒頭言いましたように、水洗化が不可能な場所があります。これらの部分をどうしていくか。水が引けるところについては、極力年次的に簡易水洗にかえていきながら、ということは考えていきたいと思っております。

次に2点目の西海漁協の浮き桟橋の問題でございますけれども、これにつきましては、以前この問題については計画的に事業が進められていたと。ところが諸般の理由によって、平成3年度の工事を最後に、ある意味中断をして現在に至っております。

この経緯については、西海漁協の皆様も十分にわかってあることだと思っております。そういう中、今西海漁協のほうが大部議員がおっしゃられたように、さまざまな水揚げをされて、活発にやっておりますということも重々わかっております。

そういう中、平成21年度においては、現在使っている浮き桟橋への連絡橋の補修関係に対して市としても支援をしていこうということで、うちとしても汗をかかせていただいたところです。その事業ですけれども、これについては県がどうしても事業主体にならざるを得ない港湾でございますので、21年の11月に知事に対して、組合長と対馬市の連名でこの浮き桟橋、物揚げ場等の整備について要望書を提出をいたしております。中断はしておったわけですけれども、これまで県との協議の中で事業の必要性というものは理解をされ、既に完了港という形になっているものの、今後整備する方向で検討したいというふうな回答を得ていました。

県のほうの整備計画によりますと、早くて平成25年度には新規事業として要求をしていきたいとの回答を得ていますので、その点御理解をいただきたいと思っております。私どもも早期着手ができるように、これからも話を詰めていきたいと思っております。

次に3点目の平瀬原地区の集会施設のことでございますけれども、これにつきましては先ほど大部議員のほうからおっしゃられたとおり、21年の第3回の定例会それから23年の第2回の定例会でも同様の御質問があり、答弁をしております。

あのような大規模な開発行為が行われる場合は、通常であれば開発業者の方がその集会施設というを設置するのが本来のあり方であります。しかし、そういう中、今までずっとそれでしてきたわけございまして、今後どうするかというふうなことであのときも答弁させていただいたつもりですし、島内には集会施設をもう完全に老朽化しているとか、また大水のときに水没するとか、いろんな施設がございます。それらの施設を全部見直す中で、また今年中に災害に対してどのように私ども対馬市は対応していくかという計画を皆さんに提示したいと思っておりますけれども、その際も避難施設の組み立て直しというのをきちんとしていきたいと思っております。そういうときに平瀬原地区に関しましては、少なくともそういう施設というのはないということにもなろうかとも思います。それらを踏まえて物事を組みたてていきたいと思っております。

ただし、集会施設となった場合も、当然大きな建設費用というのは要ります。しかし、避難施設とかいう形になったら、私どもは行政としてきちんとやらなければいけないということがあろうと思います。金額の多寡にかかわらず、そこについては物事を計画の中に盛り込まれた暁には、きちんとやっていきたいと思っておりますので、どうか御理解をいただきたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 19番、大部初幸君。

○議員（19番 大部 初幸君） 3点質問しておりますので、一つ一つやっていきたいと思いません。

まずトイレのほうですけれども、きのう私、全協が終わって三根のトイレの件で総合公園の、新しく市長つくってもらって私も安心してたんですけど、あるところから古いトイレがそのままになっていると。それで、臭くて臭くてたまらなかったということで、私も正直、新しいトイレを市長がつくっていただいて安心してたんですけど、きのう全協が終わって私見に行っただけです。私が行ったのが4時半過ぎだったもので、ちょうど西日が差したころでした。古いトイレは公園の中にあるトイレです。そのままなんですよ。あれもう解体を何でしないのか。そのまま使うんなら新しいトイレは入り口のほうにできてます。でも古いトイレ、私が指摘しとったトイレはそのままなんです。私も言われたもんですから確認のために行ってきたら、やっぱ、ぼっとんトイレ、昔のままですから、ちょうど西日が差してますから、本当、あけた瞬間に臭いんです。だから、そこは今後どのような、これは通告外ですけど公園ですから言いますが、古いトイレ

はどのようにされるつもりなんですか。解体するなら解体する、そのまま残すんなら簡易水洗にまたするかどっちかですよ。お願いします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） ただいま三根の総合公園の新しいトイレと古い、たしか三つあの公園内にあったと記憶してるんですが、私、新しいトイレをつくるに当たって、1カ所に集約をしていく。そして施設に隣接しているトイレ等々がありますですよ、あれは倉庫に隣接とか。解体というのは難しいのとかいろいろあったと僕は記憶しとるんですが、そういう中で抜き取りをして、全部、そして使えないように逆にしてしまう。解体するというのが難しい部分がありましたので、逆に抜いてしまう。そして使わないようにするというふうな方向性をそのときに、新設トイレをつくるに当たってのことでは方向を出してたんですが、抜き取りがされてるのか、全く。今も使っている状況ですか。

○議員（19番 大部 初幸君） 今も使ってます。

○市長（財部 能成君） ああ、そうですか。そうであれば、こちらが示した内容というのがきちんと、私の方向性というのがまだ伝わってないのかもしれないかもしれません。申しわけございません。壊すというのが難しい部分がありますので、抜き取って使用ができない状況に逆にしないと管理が増えるだけですので、そのために大きなトイレを野球場とトラックの間につくった形ですので、そういう方向で物事をやっていきたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 19番、大部初幸君。

○議員（19番 大部 初幸君） それで安心しました。私もこの前、やっぱりトイレの相談があったときに、トイレはそのままなんですよと。中にあるから、やっぱり球技大会とか人が集まったときは同時ですから、分散して近場に行ってるらしいんです。娘さんがその汚いトイレのほうに行くと、もう吐き気がしたと帰ってきたら、娘さんに変な話、うちの臭いまでしみ込んだようなことを言われるんです。私も確認してないもんですから、先ほど言ったように、きのうわざわざ見に行ったんですけどそのままです、今市長の言われるように、使われないのは使われないようにしてもらったほうが、せっかく新しいトイレができてますので、ぜひそういうふうにしてください。

それと教育長、先ほどの答弁で豊玉中学校は近ごろ何か確認したような話ですけど、これは私、21年の9月に1回質問してるんですよ、豊玉中は。近ごろ確認というのが私は納得いかんとです。もうちょっと早く教育長なりが確認して申請上げてくれれば、こういうトイレでは豊玉中も今のトイレではないと思うんです。私もこの前、小学校で操法大会に行ったときに見に行ったんです。日曜日だったから男のほうのトイレは見られますけど、女性用のトイレは抵抗ありますよ、正直、こちらどきどきしながら見に行くんですよ。女の子でもおったら、きゃあとか言われたら

大変ですから。そういう中でも勇気を振り切って見に行っただけですけど、本当ぼっとんトイレですから、これはやっぱり早急に解決しないと、やっぱり父兄はいろんな問題が出てるんですよ。

なぜかと言うと、確かに韓国交流等も対馬は大事ですけども、私が不可解に思うのが、ホテル業界に観光物産協会を窓口で外国人受け入れ施設グレードアップ事業というのがあるじゃないですか。100万を上限に3分の1補助でしょう。ホテル業界というのは営利目的ですよ。そういうところには補助があつて、学校関係には子供たちには見過ごしたような今の現状です。これまさか豊玉中学校の学校内は水洗でしょう。ですよ。だから、やっぱり言うように、数少ない生徒数ですから、やっぱりトイレだけはきちんとしてやらんと、これは変な話ですけど、学校だから生徒は集まるだけで、あれが本当に例えばお金を払って何かで行く、民間のどこやったら行きませんか、ああいうところ。やっぱりお金出すなら、きれいなトイレのところにお互い行くやないですか。物事あるときは、あそこのトイレは汚い、あそこのトイレはきれいということで、私たち選挙するときもよくウグイスなんか言いますよ、あそこはちょっと汚いよとか。

そういうことですので、教育長、ぜひこのトイレの改善というのはやってください。お願いします。

またついでで申しわけないんですけど、きょうも大船越の中学校の校長先生のところに、私、小体会で言われまして、体育館の中のトイレが使われんというわけです。私けさ見に行っただけですが、男用の大をするほうが簡易水洗ですから、下のぽこんとしまるところがあるでしょう。それが壊れてるから、校長先生は使用禁止の表札を上げてました。あれはしれてるもんですから、ぜひこれもやってください、学校関係ですので。

また、これ通告外ですけど、申しわけないんですが、運動場のほうも、あそこ埋め立てしてるもんで削ってるもんですから岩肌が露出してます。教育長が何か近いうちにお伺いするような話ちょっと聞きましたので、ぜひ現地を見られて、その対策の方もお願いしときます。よろしいですね。しっかり返事をもらいましたので安心をします。

それから市長、西海漁協ですけど、25年度に申請事業が、来年ですよ。来年にある程度向かって工事が進む可能性はあるということですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 県のほうも25年度に新規事業として要求をしていきたいというふうに回答が返ってきております、この件については、そういう県のほうの考えがございまして、私たち地元として要求をすると受け手側の問題もありましようから、そちらにきちんと横からプッシュしていきたいというふうに思っております。

○議長（作元 義文君） 19番、大部初幸君。

○議員（19番 大部 初幸君） ぜひこれ実現化してほしいんです。私たち美津島漁協は市長の

おかげで製氷もつくってもらいました。また、ポンツーンも立派なポンツーンができ上がっております。組合員をはじめ組合長も喜んで、私のほうにも連絡がありました。私も確認もしましたけど、正直やっぱり西海漁協は私が指摘するまでもなく、昔から養殖はやっぱ対馬唯一の盛んな漁協でした。今でもマグロを中心にやってるんですが、現地見られたら市長もわかると思うんですが、やはりよく費用対効果と言いますけれども、あそこは費用対効果は十分に投資しても、再三私が言うまでもないんでしょうけど、あれだけの水揚げをやってますし、去年よりもことしかなり増やしてますよ、マグロの尾数は。水揚げもかなり伸びてます。

だから、そういう中で頑張ってる地区ですので、ぜひ行政のほうも手を差し伸べてやって、この西海漁協の組合員たちが少しでも時間短縮するようにしてほしいんです。やはり私たちも同業者ですからわかるんですが、えさのやる時間がずれると、どうしても魚でも何でもそうなんですけど、時間帯である程度やっていかんと成長に影響するんです。例えば100箱やるのを時間が取れなかったから70とか落とすやないですか。その30減らした分が毎日の積み重ねですので、10月に30キロにするやつが11月、12月になるんです。その成長が遅れるということになれば、単価的にも影響してきます、時期的で。漁師さんもそれだけ資金が回らなくなるという大きなリスクがありますので、市長、そこをよよく理解してもらって、よく頑張っている漁協ですので、ぜひこれ実現に向けて頑張ってください。頼んどきます。市長のすごい答えを聞きたいんですが。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） すごい答えという要求でございますが、いかんせん県の事業でございますので、私ができる部分は県に対してきちんと実情を伝えていくと。そして、県の今事務方が考えております25年度に着工できるように、協力をきちんとしていきますので、これで御容赦いただければと思っております。

○議長（作元 義文君） 19番、大部初幸君。

○議員（19番 大部 初幸君） はい、ありがとうございます。それでは、ぜひ実現に向かって頑張ってください。

三つ目の質問の平瀬原地区の集会施設です。これは前区長の小島芳一氏が区長をされているときからずっと強い望みで、私のほうにも再三来られたんです。私がなぜここまで動くかという、小島芳一氏は自分の土地を提供してまで公民館をつくってくださいと、私のところに依頼に来られるんです。私はそれをずっと私の事務所に来られるときも、当然、年は五つ六つ上ですけども、本当、私の事務所に来るときは、はるか遠くからくの字です。腰を曲げて頭を下げた低い姿勢で私のところにやってこられるんです。その中身というのが、どうしても平瀬原区に公民館をつくってほしいという強い願望で、自分の土地まで提供して、なかなか区長多しといえどもいないと思

うんですよ。やっぱり九十何坪ですもんね。あれたしか567番の17番地です、提供しようというのは。九十何坪やったですね。この土地を100坪近い土地を、自分の資産を土地に提供してまで地元の公民館をつくってくださいという、私はこれに自分の心を打たれまして、あの人は亡くなる前はこういう言い方も悪いでしょうけど、がんで亡くなりましたから、自分の体がもう私のところに亡くなる前、何回も来られたときに、もう顔色からずっとわかってきましたから、自分はわかってたんです。それでも私のとこに足を運んでこられて、ぜひ実現してください実現してくださいということで、市長の昨年の答弁を私が伝えたところ、市長が今度再度通ったときはやってくれるというようなありがたいお言葉ですよと私が伝えたときに、小島氏はやっぱりすごく喜びました。私は変な話ですけど、男の死にざまというんですか、生きざまというんですか、こういう人もおるんだなど。世のため人のために自分の財を投げ出して、そして自分の命を振り返らず一生懸命にこういうことを訴えてくる。私はそれに感動されて、これずっと動いているんです。

市長、何とかこれを実現に向けて頑張ってくださいませんか。本当、平瀬原住民はすごく市長の今度の動きに期待していますので、ひとつよろしくをお願いします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今、大部議員さんのおっしゃられました小島さん、お亡くなりになられる前に、私のほうも現地確認をさせていただき、約90坪の土地を、そして場所もあの団地の中のほぼ中央部といいますか、ということで立地的にいい場所だというふうにも確認をさせていただいております。

先ほど申しましたように、ほかの地区の公民館で建てかえをしないといけない等々の問題を抱えている地区もありますので、年内につくります避難施設等の計画をつくりますので、その中に盛り込んで計画を進めていきたいというふうに思っております。できれば新しい所有者の方も、前所有者と同じお気持ちで土地提供をしたいというお話も聞いております。そういう同じ環境下にあるならば、前回と同じ考え方で進めていきたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 19番、大部初幸君。

○議員（19番 大部 初幸君） 小島氏は亡くなったんですが、その後を引き継いでいるのが、これは名前は伏せますけれども、次の人も小島氏の意味を尊重しまして、そのままでいいと。でも、変な話ですけど、若干こういうところであれでしょうけど、担保なんかに入ってる分もあるんですけど、ここのほうも私もここで言うからには、きちっとしとかないかんと思って、担保も抜いてもらうような形もとってますし、そこもその支店長とも了解済みですので、名前は伏せますけれども、何かあれば私もすぐその場でお伺いもするし話しはできていますので、後で支店長の名前も伝えますので、ぜひ市長、お願いします。これみんなの強い要望ですし、先ほど言っ



たように、やっぱり亡くなった小島さんに対しても、ぜひこれ実現してほしいと思うんです。これができることによって、彼もやっぱり草葉の陰で喜ぶと思いますので、ぜひお願いします。

私はこれで終わります。ありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。再開を11時から行います。

午前10時38分休憩

午前11時00分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

13番、三山幸男君。

○議員（13番 三山 幸男君） 皆様、改めましておはようございます。質問に入る前に、5月1日に副市長に就任されました高屋副市長に御就任おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。今まで培われた経験と豊富な体験を十分対馬市のために発揮されますよう期待をいたしておりますので、対馬市発展のために御尽力いただきたいと思います。よろしく願いをいたします。

それでは、通告に従いまして市政一般に対し質問をさせていただきます。

1点目の質問は、現在の対馬市の人口は本年4月末日で3万4,445人です。昨年の10月に発表されました平成22年国勢調査の結果によると、人口は3万4,407人で、5年前の平成17年の国勢調査からしますと4,074人の減少となっています。対馬市の人口が最も多かった昭和35年には6万9,556人ですので、半世紀で約半分減ったということになります。今後の予想でもさらに減少するとなっております。基幹産業である農林漁業の不振、公共事業等の大幅な減少など、雇用の場のないことなどが原因ではあるとは思いますが、第1次対馬市総合計画では、平成27年には人口を3万6,000人を目指しておりますが、市長はどのようにお考えなのかお尋ねをいたします。

2点目に、観光客の増加により受け入れ対策はどのようにお考えか。韓国からの観光客は、ここしに入ってから大幅に増加し、厳原に行くたびに多くの観光客をいつでも見かけるようになりました。このことは対馬市にとって観光客の増加は歓迎すべきとは思いますが。例えば、観光バス会社、飲食店、ホテル、旅館などの業界、またそれらに通じる納入業者など、大きな経済効果をもたらしているとは思いますが。

そこで、次の3点をお尋ねします。

①、24年度の韓国人観光客はどのくらいと予想されているか。もし予想されていれば、数を